

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月20日

上場取引所 東

上場会社名 アルインコ株式会社

コード番号 5933

URL <http://www.alinco.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長兼社長執行役員（氏名）小林 宣夫

問合せ先責任者（役職名）取締役兼常務執行役員 経理本部長（氏名）坂口 豪志

(TEL)06-7636-2222

四半期報告書提出予定日 2021年8月3日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年3月21日～2021年6月20日）

（1）連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 12,935 | 6.8 | 489 | △5.6 | 674 | △8.7 | 462 | 23.8 |
| 2021年3月期第1四半期 | 12,108 | △11.5 | 518 | △35.7 | 738 | △12.0 | 373 | △21.9 |

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 424百万円 (85.2%) 2021年3月期第1四半期 229百万円 (△51.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | EBITDA | |
|---------------|-----------------|----------------------------|--------|-------|
| | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 23.92 | ー | 1,389 | △4.5 |
| 2021年3月期第1四半期 | 18.83 | ー | 1,454 | △12.9 |

(注) EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却額

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | 55,900 | 27,740 | 49.5 | 1,431.34 |
| 2021年3月期 | 55,443 | 27,679 | 49.8 | 1,428.84 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 27,658百万円 2021年3月期 27,597百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | ー | 19.00 | ー | 19.00 | 38.00 |
| 2022年3月期 | ー | ー | ー | ー | ー |
| 2022年3月期（予想） | ー | 20.00 | ー | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 27,290 | 8.3 | 1,400 | 43.5 | 1,490 | 32.5 | 1,010 | 67.6 | 52.29 |
| 通期 | 56,030 | 5.0 | 2,990 | 17.0 | 3,080 | 7.2 | 2,010 | 20.8 | 104.06 |

(参考) EBITDA 2022年3月期予想：6,420百万円 (0.2%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2022年3月期1Q | 21,039,326株 | 2021年3月期 | 21,039,326株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期1Q | 1,715,757株 | 2021年3月期 | 1,724,357株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2022年3月期1Q | 19,320,344株 | 2021年3月期1Q | 19,827,910株 |

(注) 「信託型従業員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®)」により「アルインコ従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております (当第1四半期連結会計期間末497,500株)。また1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております (当第1四半期連結累計期間500,725株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が続く中、法人企業統計では製造業の経常利益水準がコロナ前を大きく上回るなど一部で明るい兆しが見られるものの、感染力の強い変異株の出現や繰り返される感染抑制策等により、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においては、建築着工床面積の前年比増が継続するなど回復に向けた動きが見られます。このような状況の中、コア事業である仮設機材の製造・販売とレンタル関連事業においては、主力製品の新型足場「アルバトロス」の好調な販売によって、前年同期を上回る水準で推移しました。一方、コロナ禍で前期に好業績を記録したフィットネス事業においては家庭用フィットネス機器の販売に一巡感が生じました。

この結果、売上高はコア事業の回復により、前年同期比6.8%増の129億35百万円となりました。利益面においては、国際的な商品市況の影響を受けて鋼材価格が上昇していることや、海外からの仕入が原材料価格や運送コスト上昇の影響を受けたことなどから、営業利益は前年同期比5.6%減の4億89百万円、経常利益は前年同期比8.7%減の6億74百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式の一部売却による特別利益を計上したことや法人税等の減少によって前年同期比23.8%増の4億62百万円となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

当第1四半期 セグメントごとの状況

| セグメントの名称 | 売上高 | | セグメント利益 | |
|---------------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 金額(百万円) | 前年同期比増減率(%) | 金額(百万円) | 前年同期比増減率(%) |
| 建設機材関連事業 | 4,720 | 28.7 | 375 | 52.1 |
| レンタル関連事業 | 3,784 | 1.5 | 127 | △0.8 |
| 住宅機器関連事業 | 3,545 | △12.5 | 14 | △93.6 |
| 電子機器関連事業 | 884 | 33.7 | 35 | — |
| 報告セグメント計 | 12,935 | 6.8 | 552 | △1.6 |
| 調整額 | — | — | 122 | — |
| 四半期連結損益計算書計上額 | 12,935 | 6.8 | 674 | △8.7 |

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

建設機材関連事業

当事業の売上高は、前年同期比28.7%増の47億20百万円となりました。建設用仮設機材の販売においては、新型足場「アルバトロス」が大手建設会社での採用が決まるなど、新規顧客への販売と既存顧客からの追加購入の増加によって、前年同期比121.6%増と着実に増加しており、第2四半期以降についても更なる販売増が見込まれる状況にあります。また、物流倉庫向けラックの販売も引き続き好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比52.1%増の3億75百万円となりました。

レンタル関連事業

当事業の売上高は、前年同期比1.5%増の37億84百万円となりました。中高層用レンタルにおいて仮設機材の稼働率が上昇したことや、コロナ禍の影響を強く受けていたイベント向けレンタルがオリンピック関連の受注によって堅調に推移しました。

損益面では、セグメント利益が前年同期並みの1億27百万円となりました。

住宅機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比12.5%減の35億45百万円となりました。アルミ製はしごや脚立などの製品は堅調に推移したものの、前年同期に「巣ごもり需要」の好影響が強く生じたフィットネス機器は、その反動によって販売が減少しました。

損益面では、売上高の減少と海外からの仕入が原材料価格の上昇や運送コスト上昇の影響を受けたことによって、セグメント利益は前年同期比93.6%減の14百万円となりました。

電子機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比33.7%増の8億84百万円となりました。半導体を中心とした電子部品の需給が逼迫する中、サプライチェーンへの影響を最小限に止めることができ、特定小電力無線機や業務用無線機は需要回復を確実に捉えて3者同時通話対応や中継器対応型無線機の販売が好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比76百万円改善し35百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は559億円となり、前期末に比べ4億56百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産が335億61百万円（前期末比3億76百万円増）、固定資産が223億38百万円（前期末比79百万円増）であります。総資産の主な増加要因は、計画的な生産によるたな卸資産の増加（前期末比8億41百万円増）によるものです。

負債は、281億59百万円となり、前期末に比べ3億94百万円増加しました。その内訳は、流動負債が163億20百万円（前期末比1億60百万円増）、固定負債が118億39百万円（前期末比2億34百万円増）であります。負債の主な増加要因は、借入金の増加（前期末比7億52百万円増）によるものです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億62百万円となったことや、剰余金の配当を3億76百万円実施したことなどにより、277億40百万円（前期末比61百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年4月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月20日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,535,238 | 5,919,385 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,597,524 | 13,814,322 |
| 商品及び製品 | 8,427,257 | 9,146,424 |
| 仕掛品 | 1,192,425 | 1,260,160 |
| 原材料 | 2,430,463 | 2,485,175 |
| その他 | 1,024,220 | 955,491 |
| 貸倒引当金 | △21,901 | △19,535 |
| 流動資産合計 | 33,185,229 | 33,561,426 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| レンタル資産 | 25,621,129 | 26,016,154 |
| 減価償却累計額 | △21,707,320 | △21,789,177 |
| 減損損失累計額 | △298,857 | △308,582 |
| レンタル資産（純額） | 3,614,952 | 3,918,394 |
| 建物及び構築物 | 11,160,814 | 11,270,504 |
| 減価償却累計額 | △7,398,587 | △7,518,693 |
| 建物及び構築物（純額） | 3,762,227 | 3,751,811 |
| 機械装置及び運搬具 | 5,181,525 | 5,194,822 |
| 減価償却累計額 | △3,996,403 | △4,070,057 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,185,121 | 1,124,764 |
| 土地 | 5,095,600 | 5,158,549 |
| その他 | 4,287,878 | 4,464,106 |
| 減価償却累計額 | △3,392,528 | △3,454,478 |
| 減損損失累計額 | △19,388 | △19,388 |
| その他（純額） | 875,961 | 990,239 |
| 有形固定資産合計 | 14,533,863 | 14,943,760 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 980,156 | 908,885 |
| その他 | 223,860 | 251,313 |
| 無形固定資産合計 | 1,204,016 | 1,160,198 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,671,110 | 1,430,991 |
| 長期貸付金 | 1,298,068 | 1,266,512 |
| 破産更生債権等 | 3,134 | — |
| 退職給付に係る資産 | 2,410,670 | 2,423,385 |
| 繰延税金資産 | 107,930 | 96,993 |
| その他 | 1,036,034 | 1,019,838 |
| 貸倒引当金 | △6,184 | △3,050 |
| 投資その他の資産合計 | 6,520,764 | 6,234,671 |
| 固定資産合計 | 22,258,644 | 22,338,631 |
| 資産合計 | 55,443,873 | 55,900,057 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月20日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,267,563 | 7,503,523 |
| 短期借入金 | 463,200 | 619,300 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,068,624 | 5,246,584 |
| 未払法人税等 | 662,320 | 307,669 |
| 賞与引当金 | 714,390 | 422,347 |
| その他 | 1,983,181 | 2,220,700 |
| 流動負債合計 | 16,159,280 | 16,320,124 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,347,955 | 10,766,704 |
| 退職給付に係る負債 | 192,189 | 195,995 |
| 役員退職慰労引当金 | 186,336 | 172,420 |
| 繰延税金負債 | 440,073 | 267,719 |
| その他 | 439,034 | 436,803 |
| 固定負債合計 | 11,605,588 | 11,839,642 |
| 負債合計 | 27,764,869 | 28,159,767 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,361,596 | 6,361,596 |
| 資本剰余金 | 4,922,140 | 4,922,140 |
| 利益剰余金 | 17,043,168 | 17,128,712 |
| 自己株式 | △1,449,359 | △1,440,931 |
| 株主資本合計 | 26,877,545 | 26,971,518 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 163,324 | 14,663 |
| 繰延ヘッジ損益 | 64,647 | 49,807 |
| 為替換算調整勘定 | 249,004 | 392,388 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 243,398 | 230,169 |
| その他の包括利益累計額合計 | 720,375 | 687,029 |
| 非支配株主持分 | 81,083 | 81,742 |
| 純資産合計 | 27,679,004 | 27,740,289 |
| 負債純資産合計 | 55,443,873 | 55,900,057 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年6月20日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 12,108,295 | 12,935,072 |
| 売上原価 | 8,491,173 | 9,333,196 |
| 売上総利益 | 3,617,121 | 3,601,875 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,098,399 | 3,112,243 |
| 営業利益 | 518,722 | 489,632 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,618 | 16,342 |
| 受取配当金 | 54,730 | 41,984 |
| 受取地代家賃 | 14,343 | 4,544 |
| 為替差益 | 154,497 | 69,786 |
| 作業屑等売却益 | 19,148 | 59,037 |
| その他 | 32,788 | 39,028 |
| 営業外収益合計 | 286,126 | 230,722 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,839 | 12,332 |
| 支払地代家賃 | 6,115 | 6,115 |
| 持分法による投資損失 | 29,290 | 6,546 |
| その他 | 16,926 | 20,639 |
| 営業外費用合計 | 66,171 | 45,633 |
| 経常利益 | 738,677 | 674,721 |
| 特別利益 | | |
| 有形固定資産売却益 | 13 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 59,648 |
| 特別利益合計 | 13 | 59,648 |
| 特別損失 | | |
| 有形固定資産除売却損 | 1,995 | 6,859 |
| 特別損失合計 | 1,995 | 6,859 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 736,695 | 727,510 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 421,512 | 357,213 |
| 法人税等調整額 | △101,636 | △89,532 |
| 法人税等合計 | 319,876 | 267,680 |
| 四半期純利益 | 416,818 | 459,830 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 43,373 | △2,314 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 373,444 | 462,145 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年6月20日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 416,818 | 459,830 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 153,222 | △148,660 |
| 繰延ヘッジ損益 | △58,758 | △14,840 |
| 為替換算調整勘定 | △362,400 | 182,560 |
| 退職給付に係る調整額 | 21,292 | △13,229 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 59,099 | △41,130 |
| その他の包括利益合計 | △187,544 | △35,300 |
| 四半期包括利益 | 229,273 | 424,530 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 174,806 | 428,798 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 54,467 | △4,268 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月21日至2020年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|----------|-----------------------|
| | 建設機材 関連事業 | レンタル 関連事業 | 住宅機器 関連事業 | 電子機器 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,666,301 | 3,728,835 | 4,051,549 | 661,609 | 12,108,295 | — | 12,108,295 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 516,873 | 695 | 59,088 | 4,617 | 581,275 | △581,275 | — |
| 計 | 4,183,174 | 3,729,530 | 4,110,637 | 666,227 | 12,689,571 | △581,275 | 12,108,295 |
| セグメント利益又は損失(△) | 246,601 | 128,398 | 227,780 | △41,262 | 561,518 | 177,158 | 738,677 |

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額177,158千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は建物及び構築物の減価償却方法について、従来定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社は、当連結会計年度以降に予定しております建物等の設備投資を契機に、当社資産の使用実態を見直し減価償却方法を再検討いたしました。その結果、現在の事業環境において今後も長期的に安定的な稼働が見込まれることから、取得価額を使用可能期間にわたり均等に費用配分する定額法がこれらの資産の使用実態をより合理的に反映できると判断したためであります。

この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失への影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月21日至2021年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|----------|-----------------------|
| | 建設機材 関連事業 | レンタル 関連事業 | 住宅機器 関連事業 | 電子機器 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,720,142 | 3,784,963 | 3,545,575 | 884,390 | 12,935,072 | — | 12,935,072 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 602,233 | 5,439 | 50,311 | 4,753 | 662,738 | △662,738 | — |
| 計 | 5,322,376 | 3,790,403 | 3,595,886 | 889,144 | 13,597,810 | △662,738 | 12,935,072 |
| セグメント利益 | 375,194 | 127,388 | 14,529 | 35,213 | 552,326 | 122,395 | 674,721 |

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額122,395千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。